

極楽寺だより

長門市三隅下
野波瀬
0837(43)0625

いつく
慈しみの光あふれる春となりました。

いのち いぶき かん
生命の息吹を感じるとき、お浄土の人とな
られた方々が懐かしくしのばれます。

によらい おん そだ
如来さまのおすくいのご恩、お育てのご

おん あじ ぶつそ おん かんしゃ
恩を味わい、仏祖のご恩を感謝して、春の

えいたい きょうほうよう
永代経法要を次のとおりおつとめしま

さそ まい
す。お誘いあわせ、お参り下さい。

日時 四月二十三日(月)

昼一時半 夜七時半

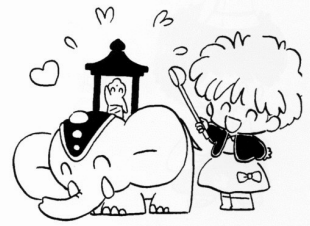
四月二十四日(火)

昼一時半

講師 福岡県筑紫野市

願応寺 住職

中川 清昭 師



しゃか たんじょう いわ ほんどう
お釈迦さまのご誕生を祝い、春の法要の二日間、本堂
はなみどう あまちや
に花御堂を飾ります。ご自由に甘茶をかけて下さいね。

甘茶お持ち帰りをご希望の方は、どうぞお申し出下さい。

花まつり

春の永代経法要のご案内



隠すのは、なぜ？ 若住職

「以前食中毒を出した店と、これまで一度も出して
いない店。あなたは、どちらで食べたいですか？」

こんな質問をされたら、あなたはどちらだと応えます
か？ やはり、一度も出していない店でしょうか。

不二家ふじやといい、プロ野球の西武ライオンズせいぶといい、

企業の不祥事ふしょうじが問題となっていますが、本当に恐ろし

いニュースが飛び込んできました。北陸電力ほくりくでんりやくの

原子力発電所における臨界事故りんがいじこの、隠蔽行為いんぺいこういです。

大事故につながりかねないことを隠かくしていたとい

う事実うじつに、そして嘘うそを重ね続けていたという事実じつじに、

恐怖きょうふを通り越し、呆あきれて言葉が出ませんでした。

どうして、こんなことが起こるのでしょうか。新聞や

テレビでは、不二家・西武・北陸電力、共通きょうつうして、その
「会社の体質かいしゃたいしつ」を問題にしていますが、果たして問題はそ

れだけなのでしょうか。もっと、もっと根深ねぶかい問題が、私

たちの「社会しゃかいの体質たいしつ」としてあるような気がします。ミス

や事故が起きたときに、「素直すなおに報告ほうこくし、責任せきにんを受け止め

る」ことよりも、「見つからなければ、それでいい」とい

う考え方が。

「以前食中毒しよくちゆうどくを出した店と、これまで一度も出していない
店。あなたは、どちらで食べたいですか？」

もちろん、一度も食中毒を出していない店は、小さなミスか

らの管理・教育かんりきょういくを徹底てっていしているのかもしれない。しかし、

そういうところばかりとは限りませんし、もしかすると「一

度も出していない店」とは、「一度も報告ほうこくしていない店」なの

かもしれないのです。なぜなら、失敗しっぱいをしない人間がこの世

にいるとは、とても思えませんから。

親鸞しんらん聖人の書かれたものを読みますと、

「人間は、失敗をするんだ。失敗をするのが人間なんだ。だから、開き直れということではなくて、そうではなくて、失敗をどう受け止めて生きていくのかが、問われるのだ」と仰おっしゃっているように思えます。

ならば、事故や失敗が起きた時点で、どのような対応たいおうをするのか、その後にどんな取り組みをするのか、日頃ひごろのミスにどう向かい合うのか。信頼関係とは、そこにしんらいかんけいおいて築きずかれるものではないでしょうか。

「失敗をしない」ことが評価ひょうかされ、「失敗をどう受け止め、その後ごどう取り組んでいるのか」が評価ひょうかされないような「社会しゃかいの体質たいしつ」があるのならば、これからも同じような事件は続くでしょう。

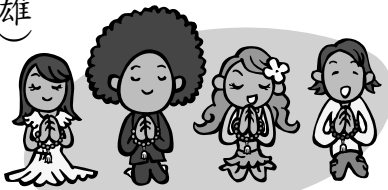
あやまちは 人間をきめない

あやまちはのあとが 人間をきめる

あやまちは 人生をきめない

あやまちはのあとが 人生をきめる

(東井義雄)



本の紹介

西本願寺 大谷光真御門主 著

世の中安穏なれ

—現代社会と浄土真宗—

中央公論社刊 定価一、二六〇円(税込)

長門市の一般書店においても、絶賛発売中!ぜひ、お買い求め下さい。

東京J R 駅内で営業する立ち食いそば店が、ネズミが入った鍋なべで煮たカレーカレールルーを使ったそばやうどんを、客きやくに提供ていきようしていたと発表はつびよう・謝罪しゃざいしました。どうしたことか、火にかけている鍋なべにネズミが入り込んだようです。ネズミ入りカレーを食べさせられた方は、大変不快な思ふかいいをされたことでしょう。しかし、隠かくすことよりも、責任ふかを深く受け止めて発表した店の真摯しんしな姿勢しせいに好感こうかんを持つのは、私だけではないはずです。■

歡喜合唱団 ホワンシィ♪コーラス

Huanxi - Chorus



ホワンシィ・コーラスとは、旧三隅町の真宗門徒の合唱団です。
ちなみに“ホワンシィ”とは、中国語（北京語）で“歡喜”の意味。
上手い下手は関係なく、ともに喜びの歌の輪を広げる集まりです。

参加者募集中

どなたでも、お気軽にご参加下さい。

毎月第3月曜日 夜7時半より 野波瀬 極楽寺にて
(開催日、会場は変更の場合があります。問い合わせはお寺まで。)

当時
41歳
の前住職
恵信尼公
募所にて



極楽寺アーカイブス ARCHIVES

アーカイブス【Archives】とは、英語で【記録（保管）所】の意味です。
歴史的に貴重な映像などの情報を、保存・活用することを示す世界の共通語となっ
ています。

極楽寺の歴史においても、貴重な
写真が丁寧にまとめられています。
その一部を紹介するコーナーを作
りました。昔の写真を通して、懐
かしいあの頃を振り返ってみて下
さい。



1974(昭和49)年聖跡巡拝団(関東 枕石寺)